

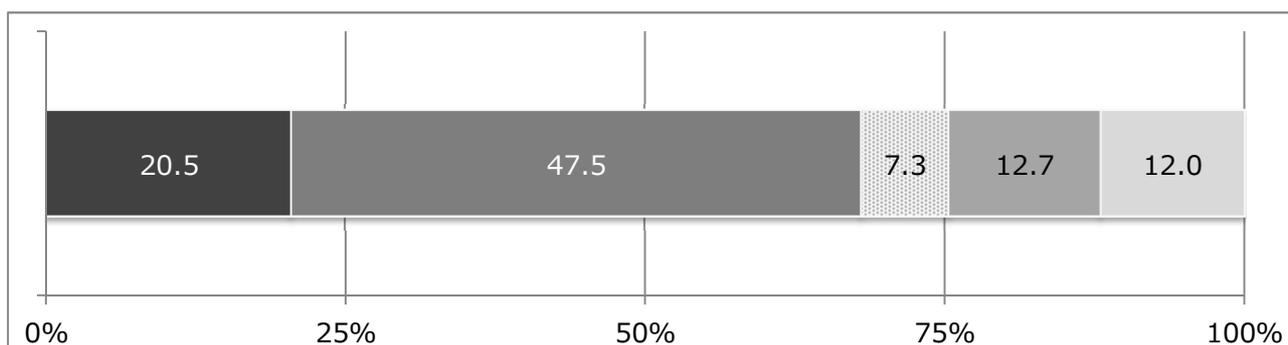
第2章 主要な設問に関する調査結果

※第2章(設問1、32、31、30、63)の単純集計による過去(H27・28)の調査結果比較は、P127～P140にも掲載

1 生活満足度

設問1 現在の生活に満足していますか。 n=1,584

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない



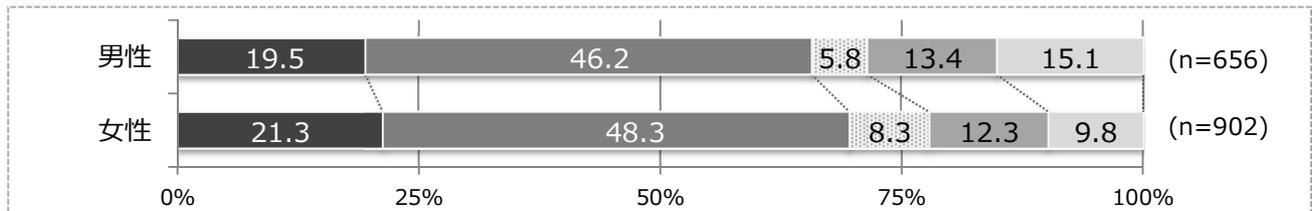
生活満足度については、「満足している」(20.5%)、「どちらかといえば満足している」(47.5%)と回答した割合の合計が68.0%となった。一方で「満足していない」(12.0%)、「どちらかといえば満足していない」(12.7%)と回答した割合の合計は24.7%となった。

平成27年度、平成28年度調査結果との比較



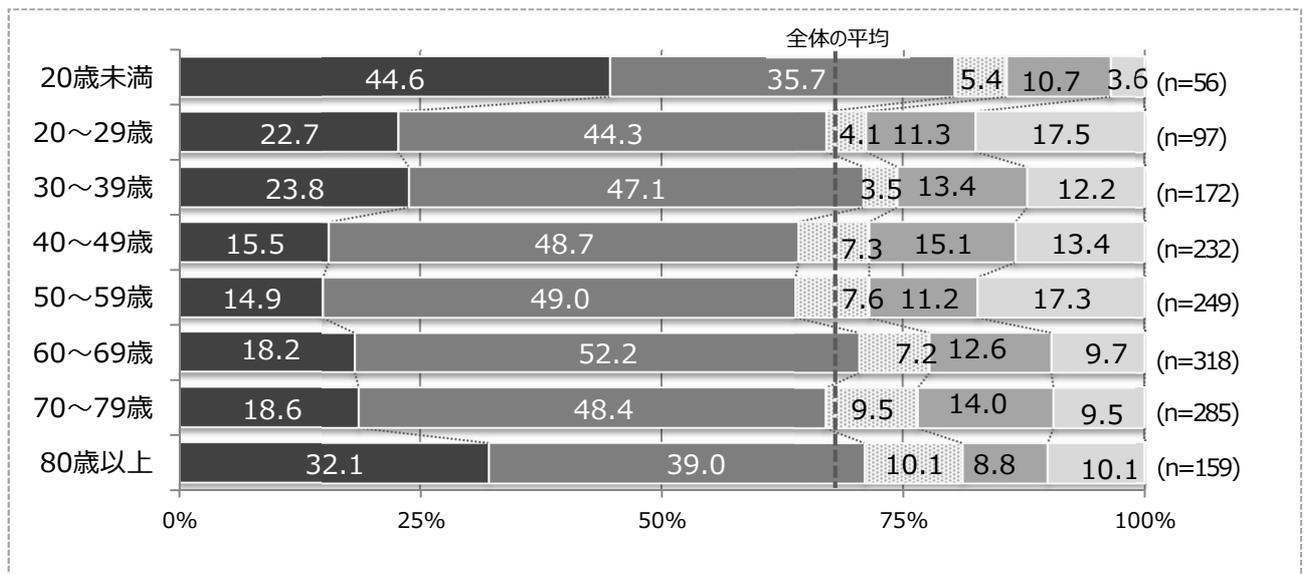
過去の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計(68.0%)は、平成27年度(65.6%)と比較して増加したが、平成28年度(68.5%)と比較すると減少した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,558



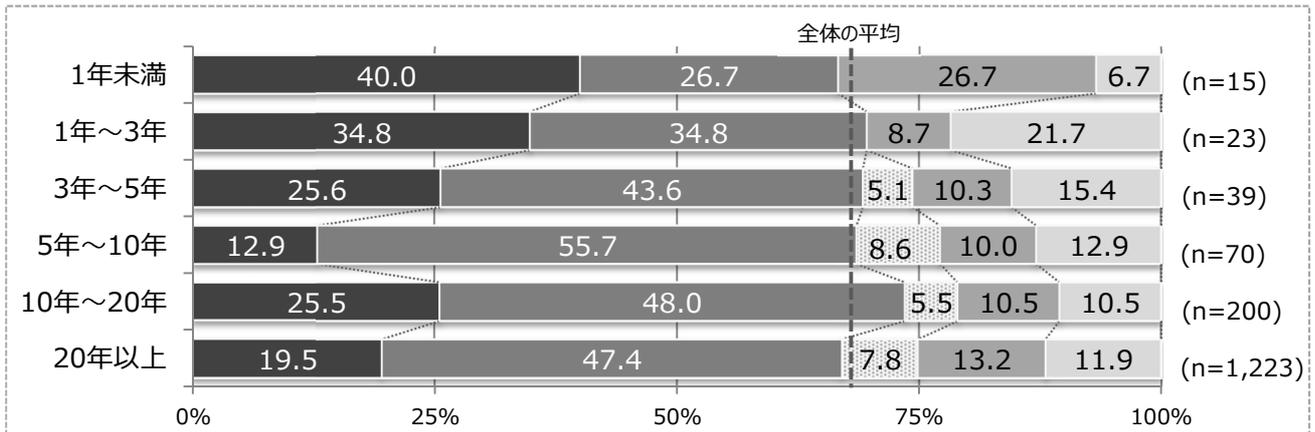
男女別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(69.6%)が「男性」(65.7%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,568



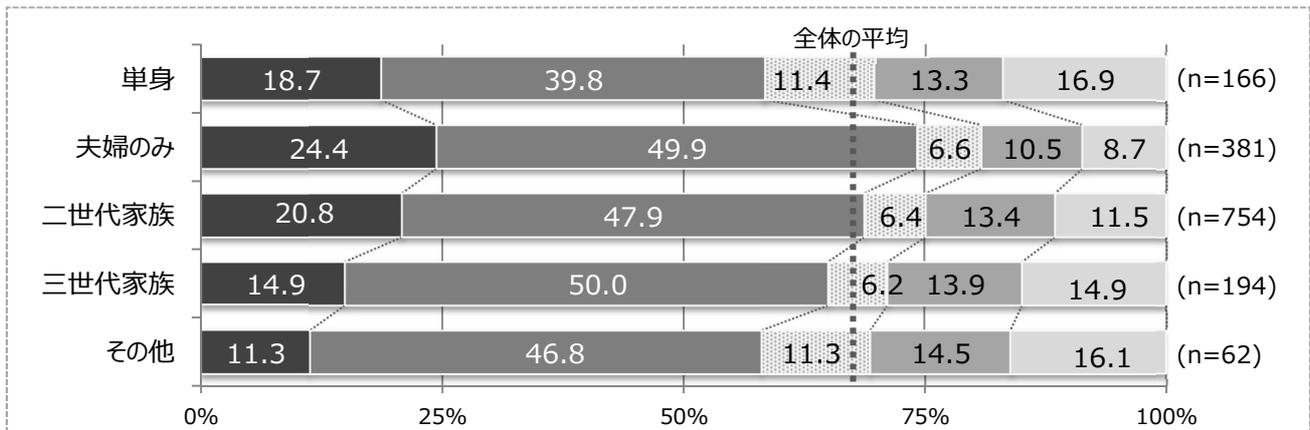
年齢階層別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「20歳未満」(80.3%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(71.1%)、「30～39歳」(70.9%)、「60～69歳」(70.4%)でも平均を上回った。一方で「50～59歳」(63.9%)、「40～49歳」(64.2%)、「20～29歳」(67.0%)、「70歳～79歳」(67.0%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,570



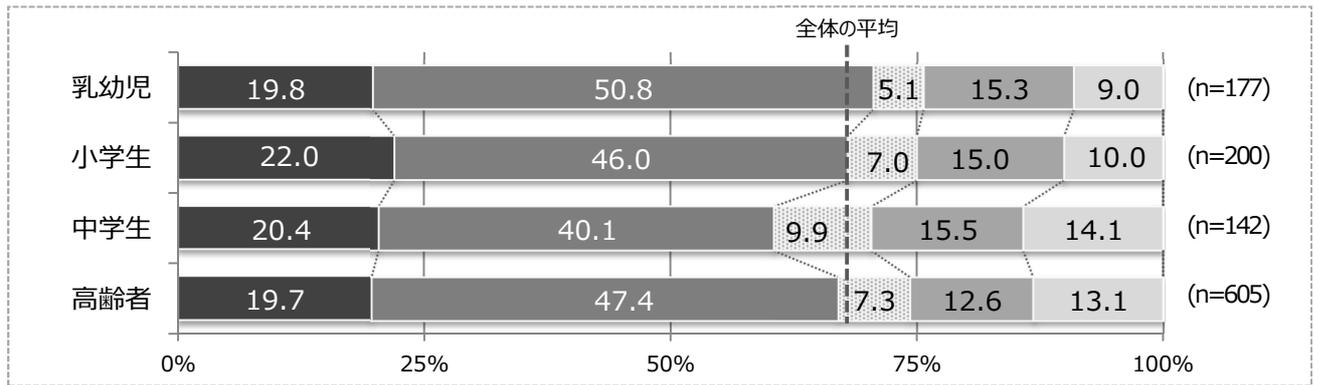
居住年数別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「10年以上 20年未満」(73.5%)、「1年以上 3年未満」(69.6%)、「3年以上 5年未満」(69.2%)、「5年以上 10年未満」(68.6%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で、「1年未満」(66.7%)、「20年以上」(66.9%)では平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,557



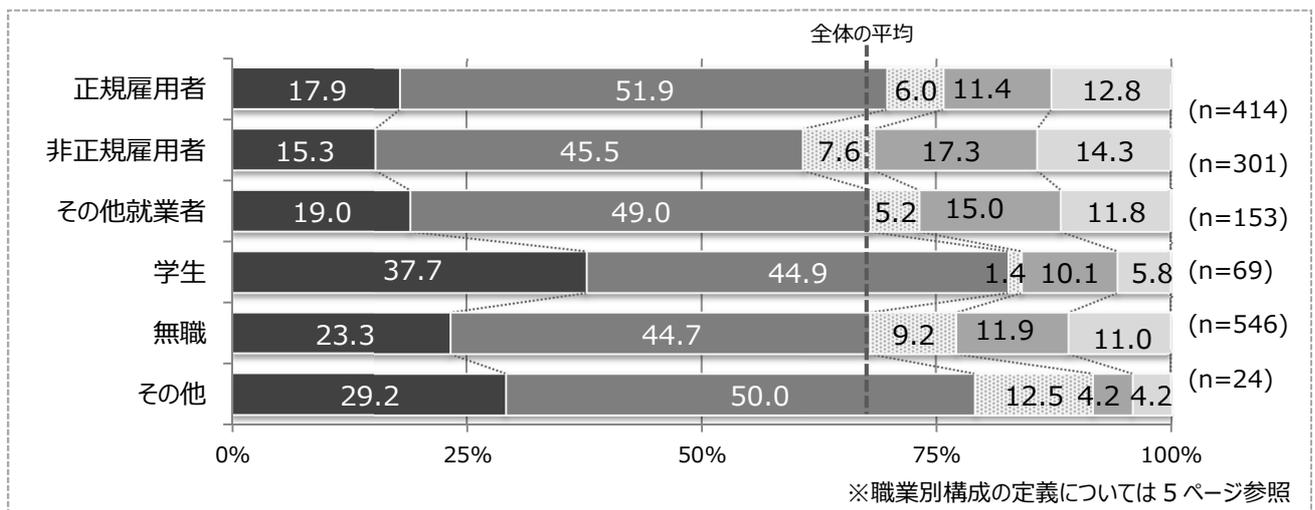
同居家族別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「夫婦のみ」(74.3%)、「二世世代家族」(68.7%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「単身」(58.5%)、「三世世代家族」(64.9%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



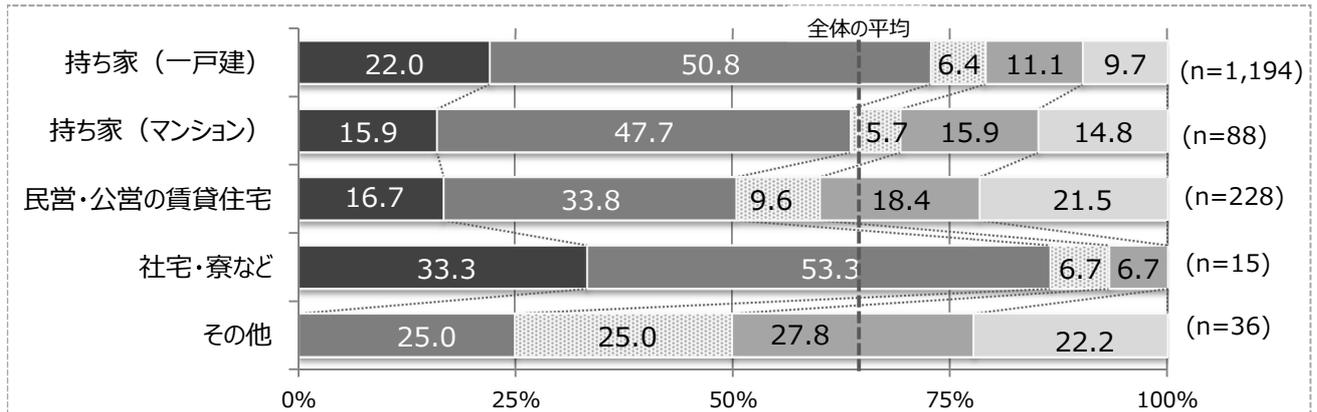
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「乳幼児」のいる世帯(70.6%)が平均を上回り、「小学生」のいる世帯(68.0%)は平均と同じ値となった。一方で「中学生」のいる世帯(60.5%)、「高齢者」のいる世帯(67.1%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,507



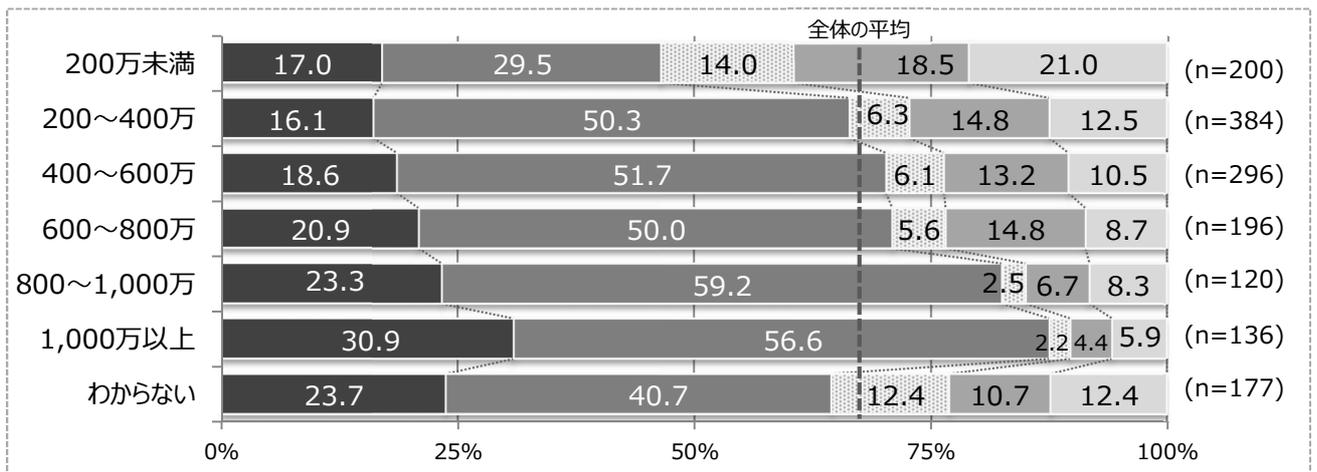
職業別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「学生」(82.6%)が平均を大きく上回り、「正規雇用者」(69.8%)、「その他就業者」(68.0%)、「無職」(68.0%)でも平均を上回る、または平均と同じ値となった。一方で「非正規雇用者」(60.8%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,561



住宅別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「社宅・寮など」(86.6%)が平均を大きく上回り、「持ち家(一戸建て)」(72.8%)でも平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(50.5%)では平均を大きく下回り、「持ち家(マンション)」(63.6%)でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,509

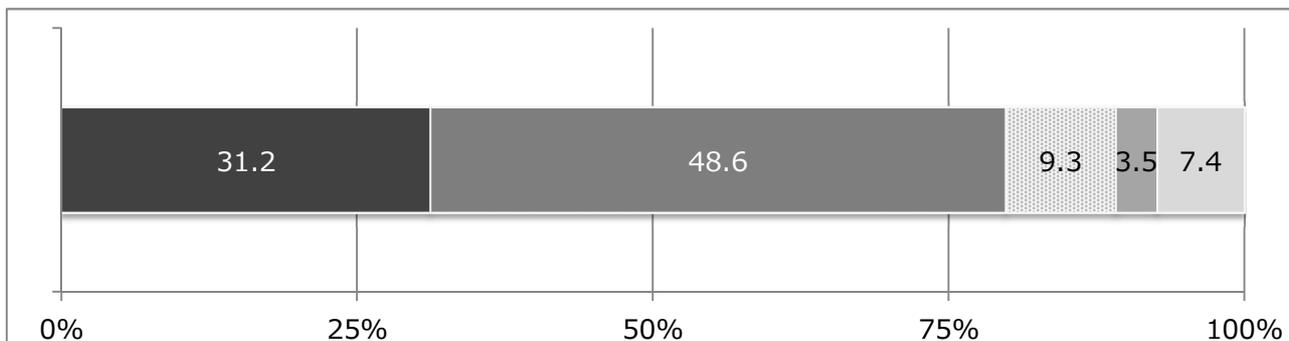


世帯収入別(「わからない」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.0%)と比較すると、「1,000 万以上」(87.5%)、「800 万以上~1,000 万未満」(82.5%)が平均を大きく上回り、「600 万以上~800 万未満」(70.9%)、「400 万以上~600 万未満」(70.3%)でも平均を上回った。一方で「200 万未満」(46.5%)では平均を大きく下回り、「200 万以上~400 万未満」(66.4%)でも平均を下回った。

2 幸福感

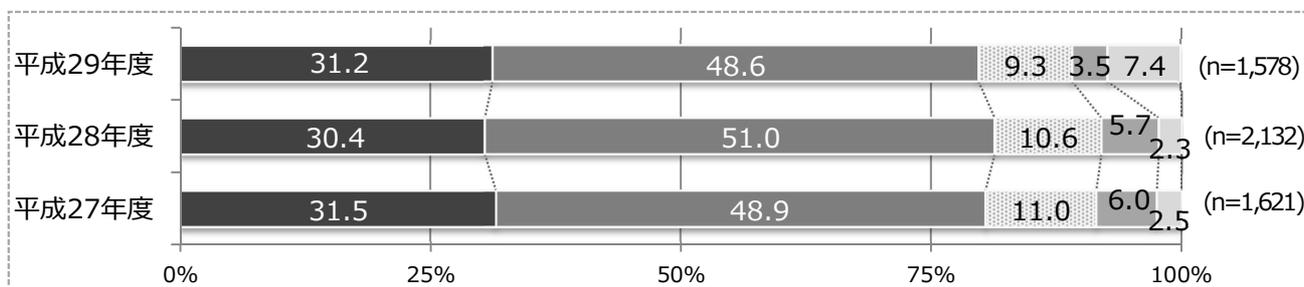
設問 32 現在、あなたは幸せだと感じますか。 n=1,578

■ 幸せだと感じる ■ どちらかといえば幸せだと感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば幸せでないと感じる ■ 不幸せだと感じる



幸福感については、「幸せだと感じる」(31.2%)、「どちらかといえば幸せだと感じる」(48.6%)と回答した割合の合計が 79.8%となった。一方で「不幸せだと感じる」(7.4%)、「どちらかといえば幸せでないと感じる」(3.5%)と回答した割合の合計は 10.9%となった。

平成 27,28 年度調査結果との比較



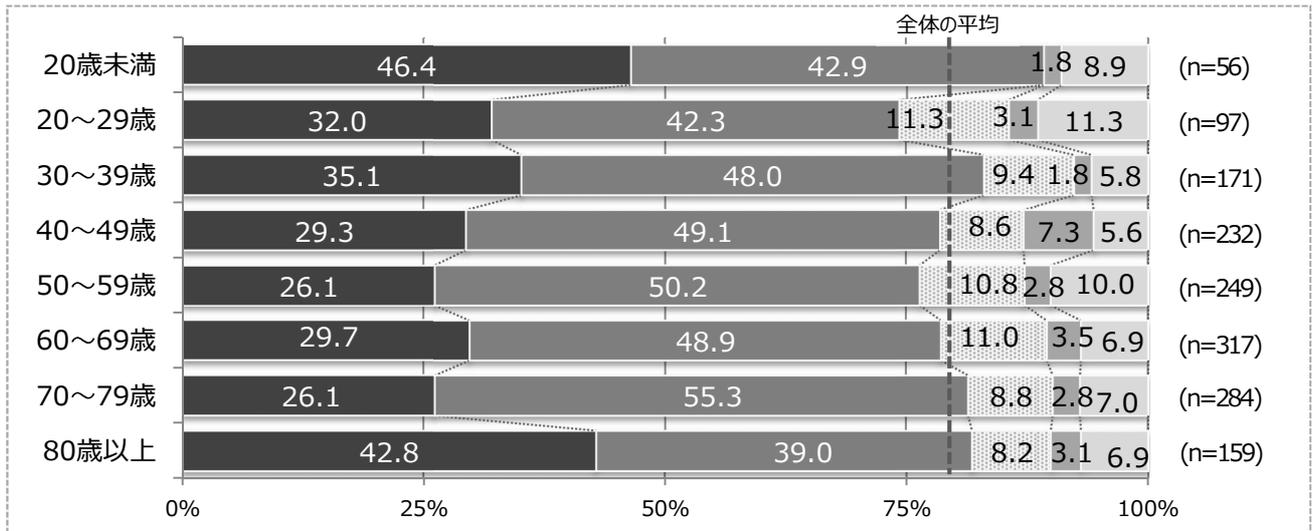
過去の調査結果と比較すると、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計(79.8%)は、平成 27 年度(80.4%)、平成 28 年度(81.4%)と比較して減少した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,554



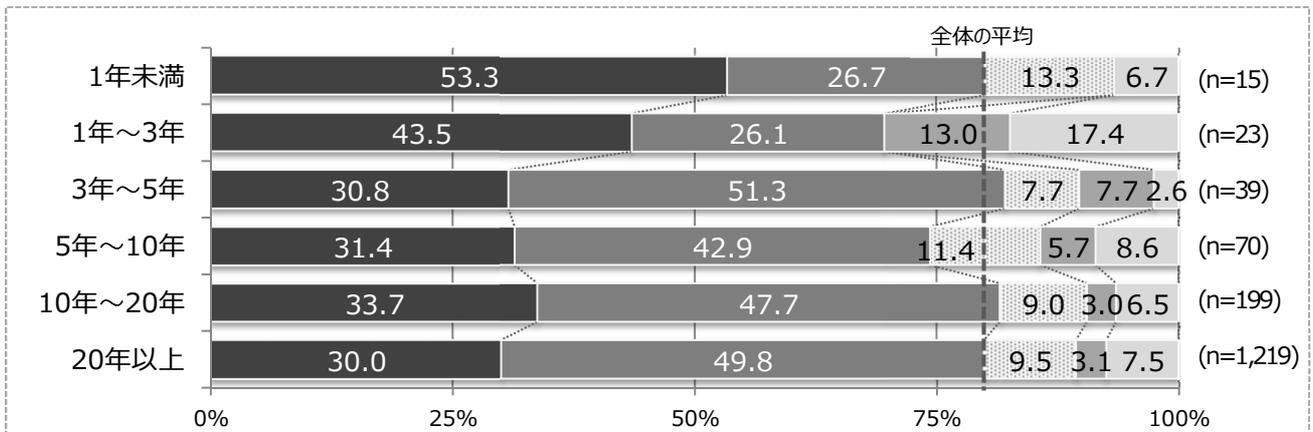
男女別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(83.4%)が「男性」(74.7%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,565



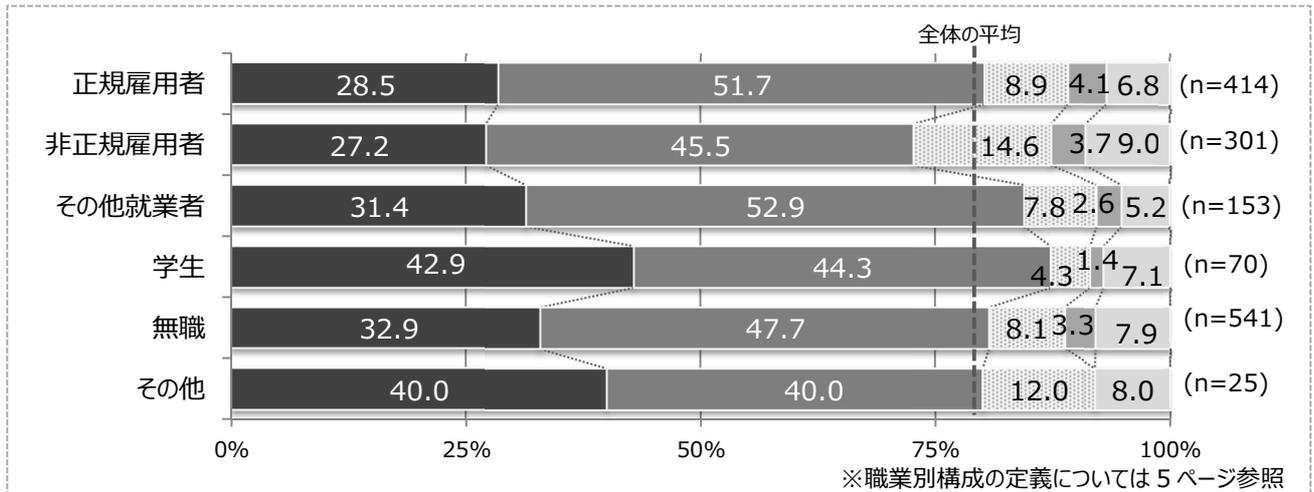
年齢階層別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.8%)と比較すると、「20歳未満」(89.3%)、「30～39歳」(83.1%)、「80歳以上」(81.8%)、「70～79歳」(81.4%)が平均を上回った。一方で「20～29歳」(74.3%)、「50～59歳」(76.3%)、「40～49歳」(78.4%)、「60～69歳」(78.6%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,565



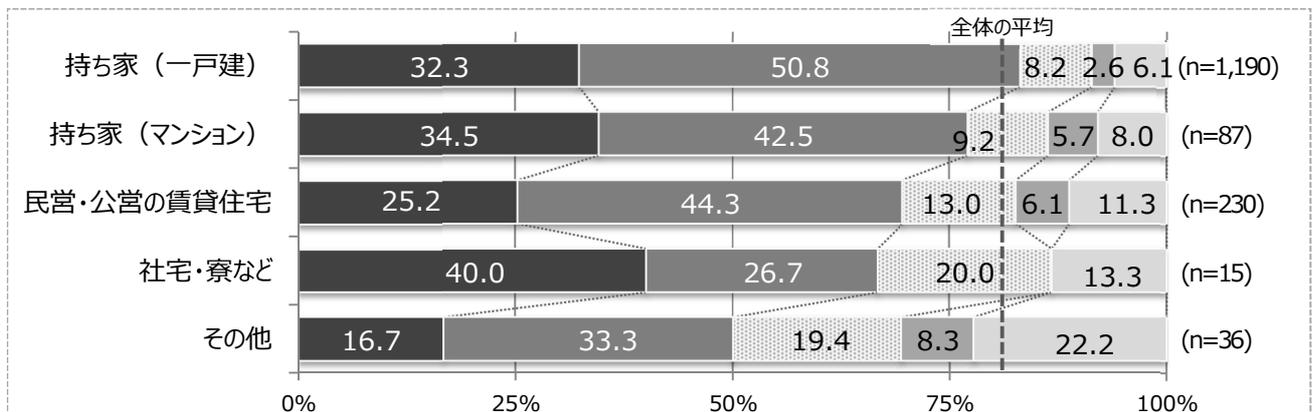
居住年数別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.8%)と比較すると、「3年以上5年未満」(82.1%)、「10年以上20年未満」(81.4%)が平均を上回った。また、「1年未満」(80.0%)では平均と近似した値となり、「20年以上」(79.8%)では平均と同じ値となった。一方で「1年以上3年未満」(69.6%)では平均を大きく下回り、「5年以上10年未満」(74.3%)でも平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,504



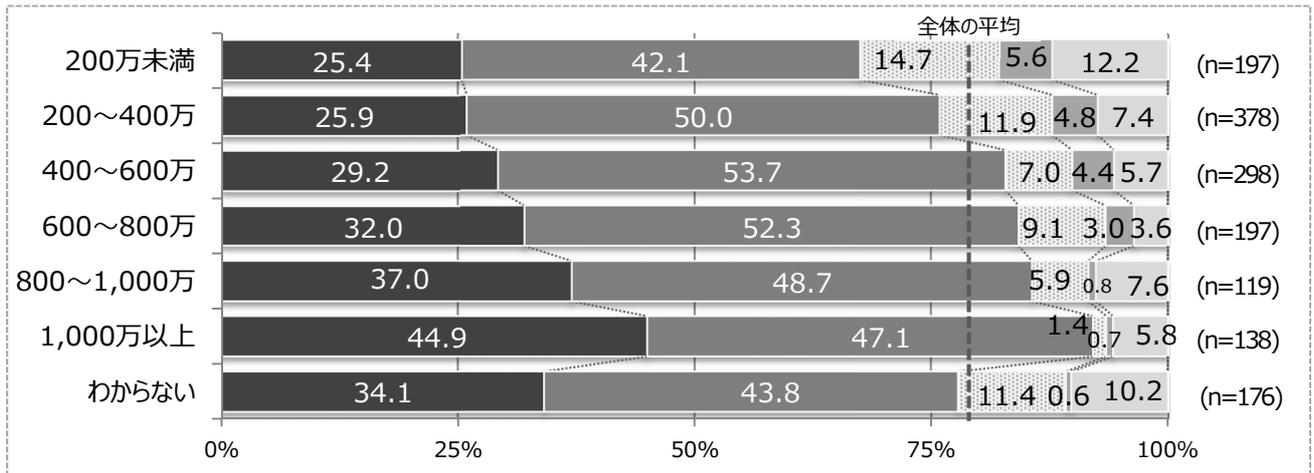
職業別（「その他」を除く）に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（79.8%）と比較すると、「学生」（87.2%）、「その他就業者」（84.3%）、「無職」（80.6%）、「正規雇用者」（80.2%）が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「非正規雇用者」（72.7%）では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,558



住宅別（「その他」を除く）に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（79.8%）と比較すると、「持ち家（一戸建て）」（83.1%）が平均を上回った。一方で「社宅・寮など」（66.7%）、「民営・公営の賃貸住宅」（69.5%）では平均を大きく下回り、「持ち家（マンション）」（77.0%）でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,503

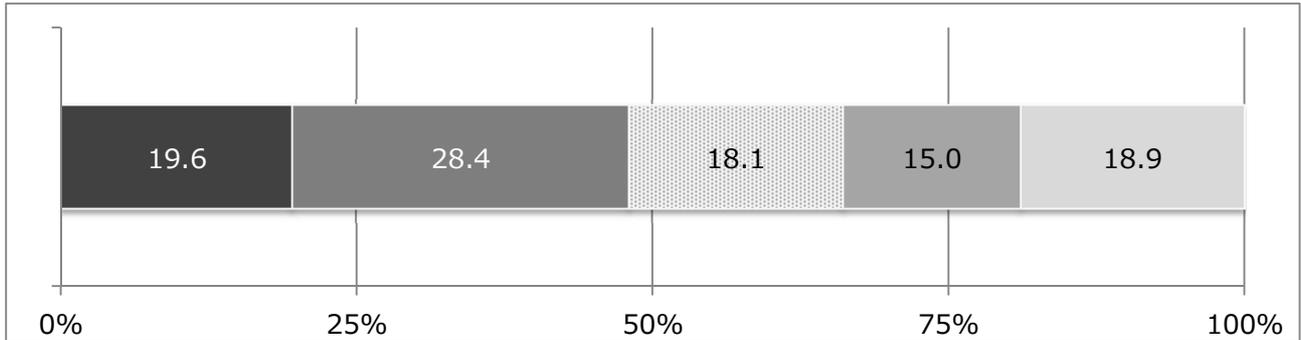


世帯収入別(「わからない」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(79.8%)と比較すると、「1,000 万以上」(92.0%)が平均を大きく上回り、「800 万以上~1,000 万未満」(85.7%)、「600 万以上~800 万未満」(84.3%)、「400 万以上~600 万未満」(82.9%)でも平均を上回った。一方で「200 万未満」(67.5%)では平均を大きく下回り、「200 万以上~400 万未満」(75.9%)でも平均を下回った。

3 岐阜市民としての誇り

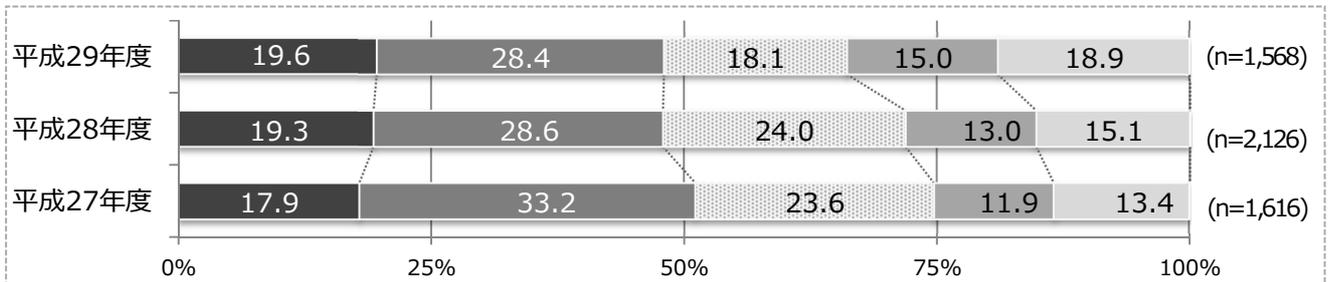
設問 31 岐阜市民であることに誇りを感じますか。 n=1,568

■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらともいえない ■どちらかといえば感じない ■感じない



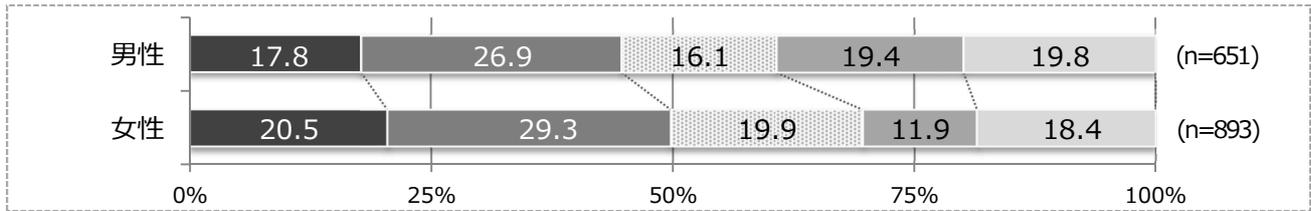
岐阜市民としての誇りについては、「感じる」(19.6%)、「どちらかといえば感じる」(28.4%)と回答した割合の合計が 48.0%となった。一方で「感じない」(18.9%)、「どちらかといえば 感じない」(15.0%)と回答した割合の合計は 33.9%となった。

平成 27 年度、平成 28 年度調査結果との比較



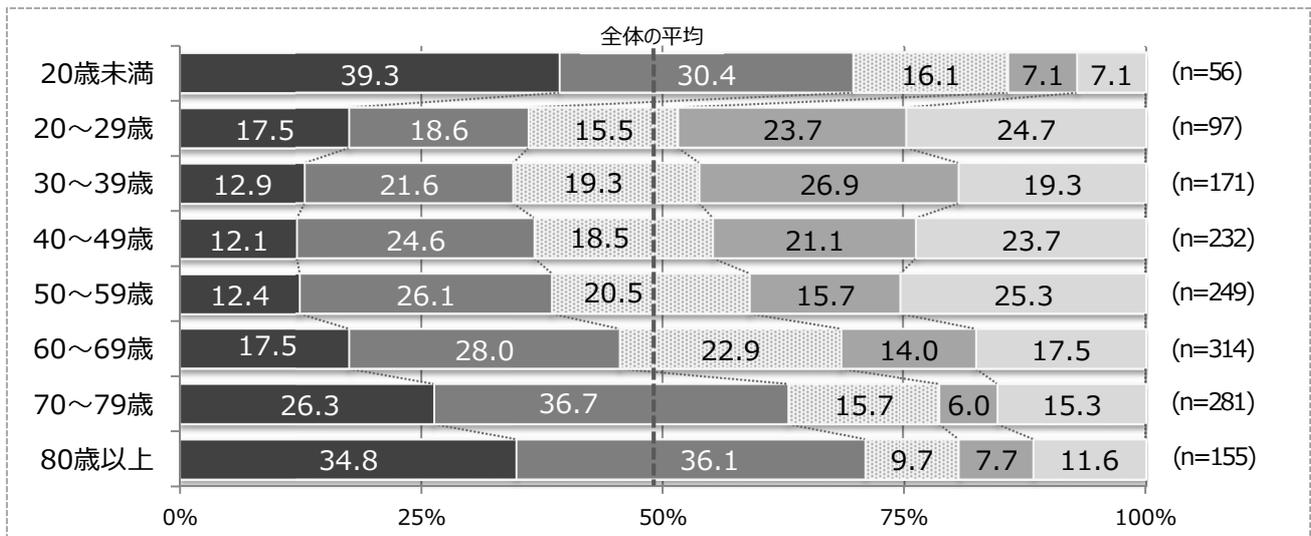
過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計 (48.0%)は、平成27年度(51.1%)、平成28年度(47.9%)と比較してほぼ同程度で推移する傾向が見られた。

男女別構成とのクロス集計 n=1,544



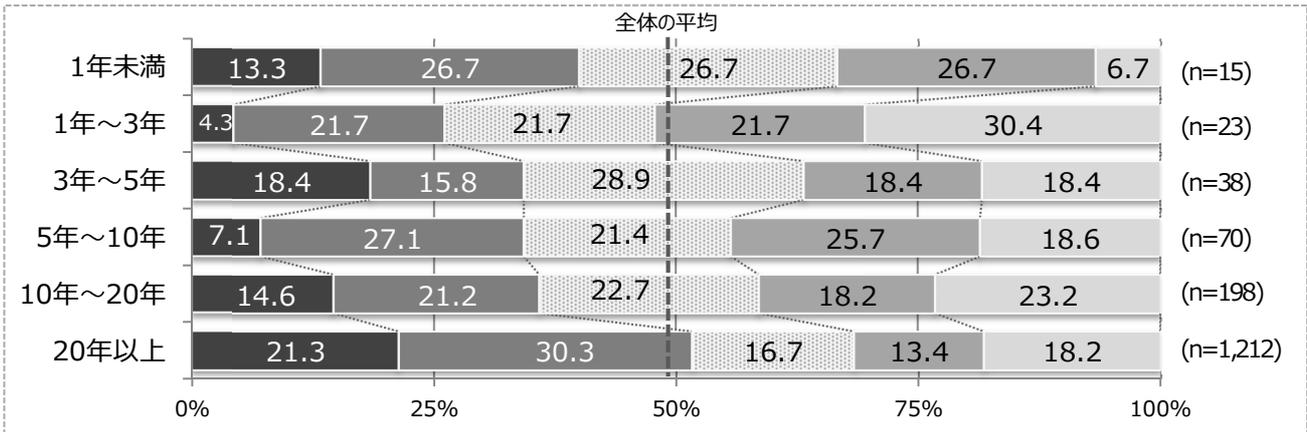
男女別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(49.8%)が「男性」(44.7%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,555



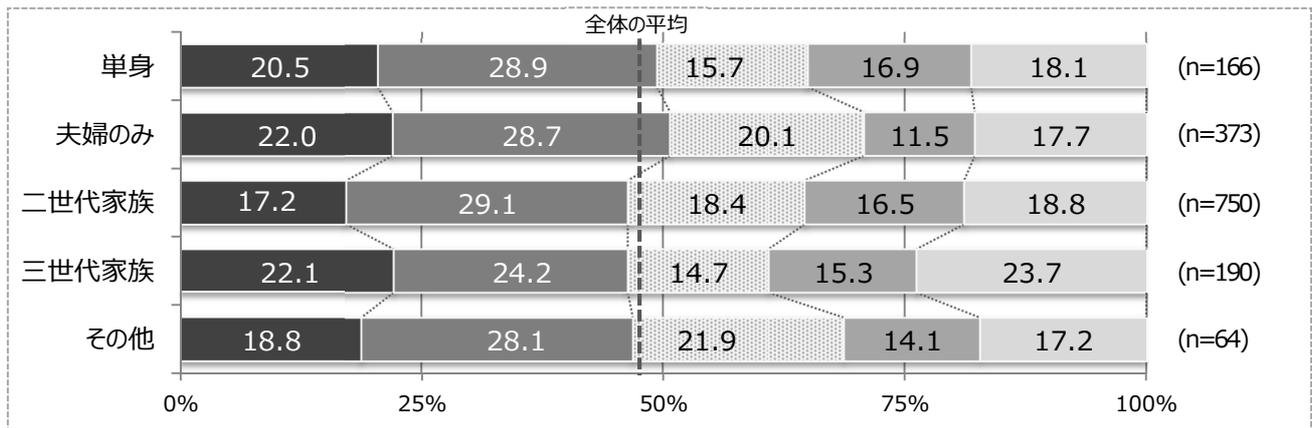
年齢階層別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「80歳以上」(70.9%)、「20歳未満」(69.7%)、「70～79歳」(63.0%)が平均を大きく上回った。一方で「30～39歳」(34.5%)、「20～29歳」(36.1%)、「40～49歳」(36.7%)では平均を大きく下回り、「50～59歳」(38.5%)、「60～69歳」(45.5%)でも平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,556



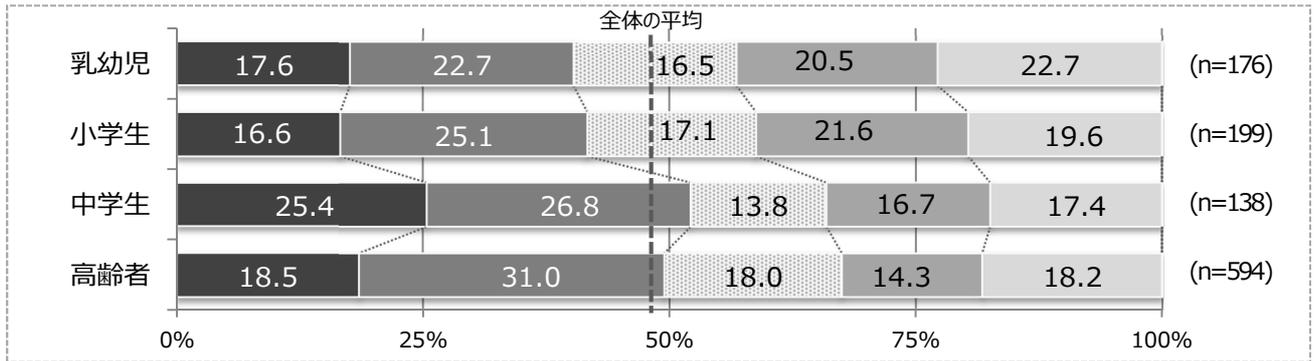
居住年数別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「20年以上」(51.6%)が平均を上回った。一方で「1年以上3年未満」(26.0%)、「5年以上10年未満」(34.2%)、「3年以上5年未満」(34.2%)、「10年以上20年未満」(35.8%)では平均を大きく下回り、「1年未満」(40.0%)でも平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,543



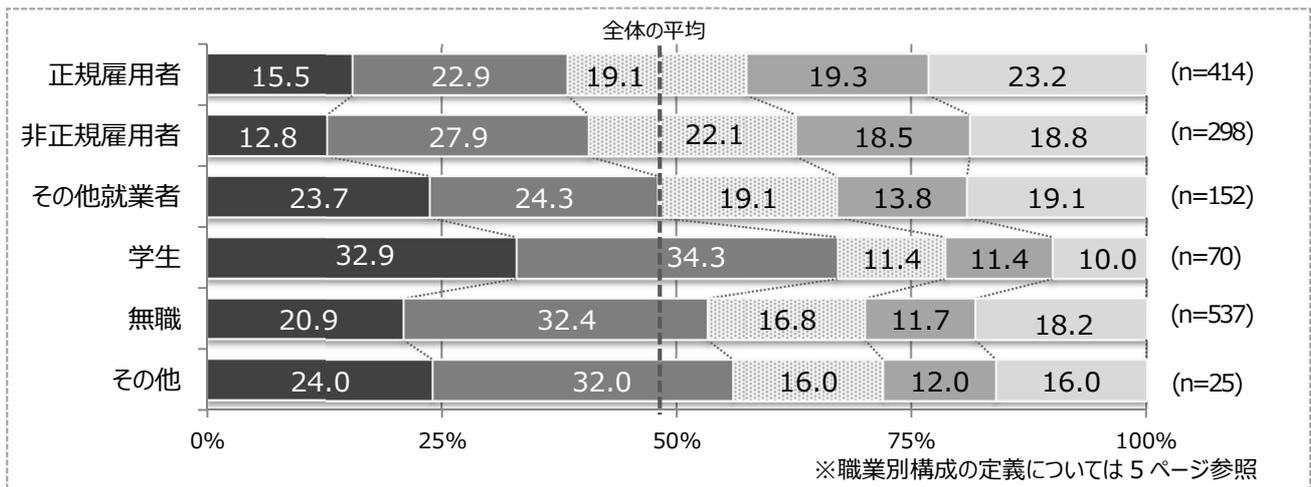
同居家族別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「夫婦のみ」(50.7%)、「単身」(49.4%)が平均を上回った。一方で「二世世代家族」(46.3%)、「三世世代家族」(46.3%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



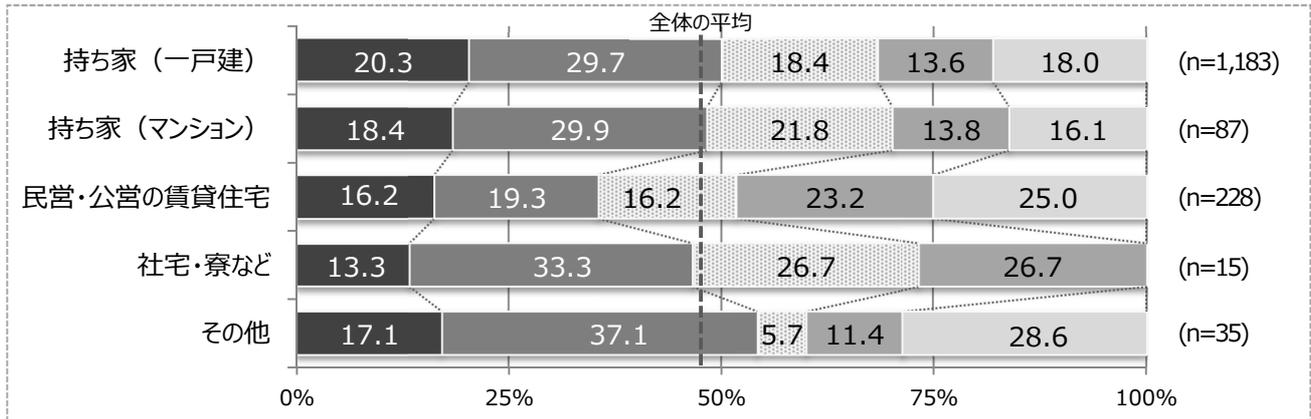
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「中学生」のいる世帯(52.2%)、「高齢者」のいる世帯(49.5%)が平均を上回った。一方で「乳幼児」のいる世帯(40.3%)、「小学生」のいる世帯(41.7%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,496



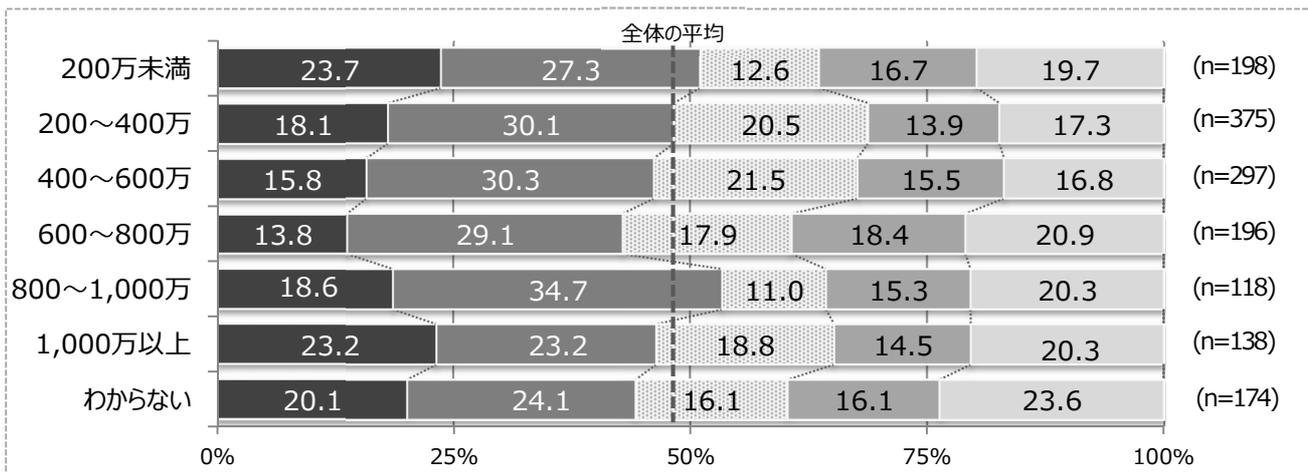
職業別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「学生」(67.2%)では平均を大きく上回り、「無職」(53.3%)、「その他就業者」(48.0%)でも平均を上回る、または平均と同じ値となった。一方で「正規雇用者」(38.4%)、「非正規雇用者」(40.7%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,548



住宅別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「持ち家(一戸建)」(50.0%)、「持ち家(マンション)」(48.3%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(35.5%)では平均を大きく下回り、「社宅・寮など」(46.6%)でも平均を下回った。

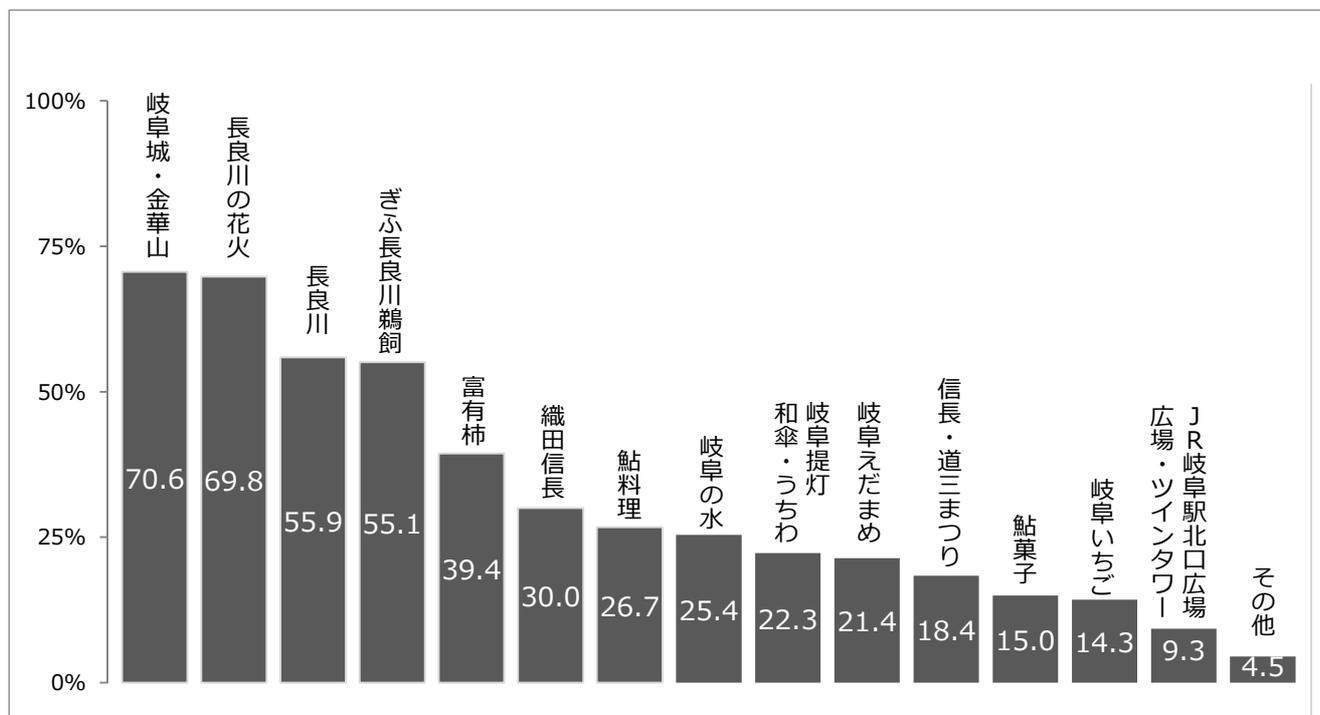
世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,496



世帯収入別(「わからない」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(48.0%)と比較すると、「800万円以上~1,000万円未満」(53.3%)、「200万円未満」(51.0%)、「200万円以上~400万円未満」(48.2%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「600万円以上~800万円未満」(42.9%)、「400万円以上~600万円未満」(46.1%)、「1,000万円以上」(46.4%)では平均を下回った。

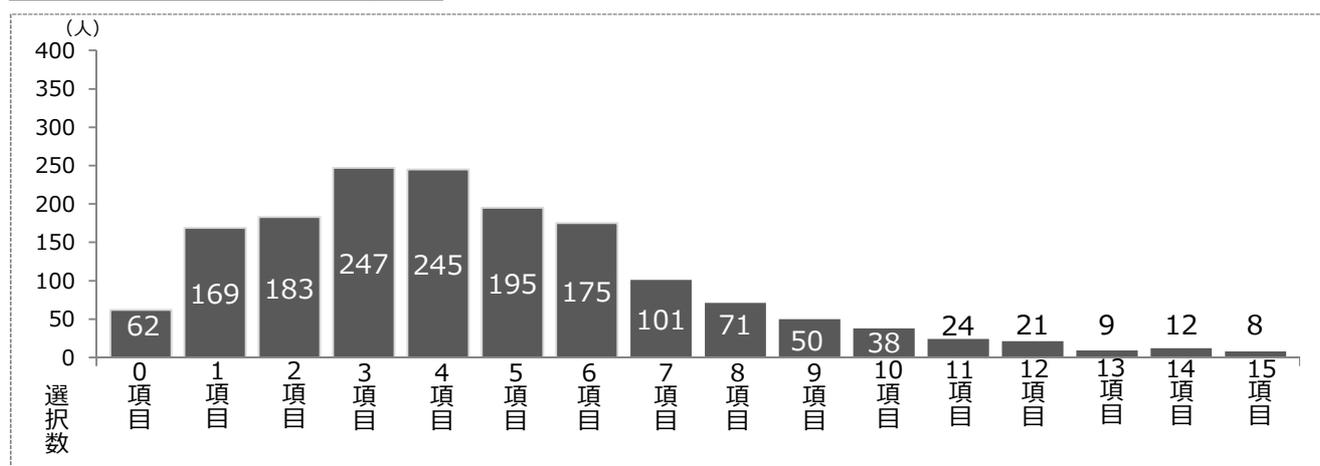
4 岐阜市の魅力

設問 30 岐阜市の魅力は何ですか。 n=1,549 (複数選択可)



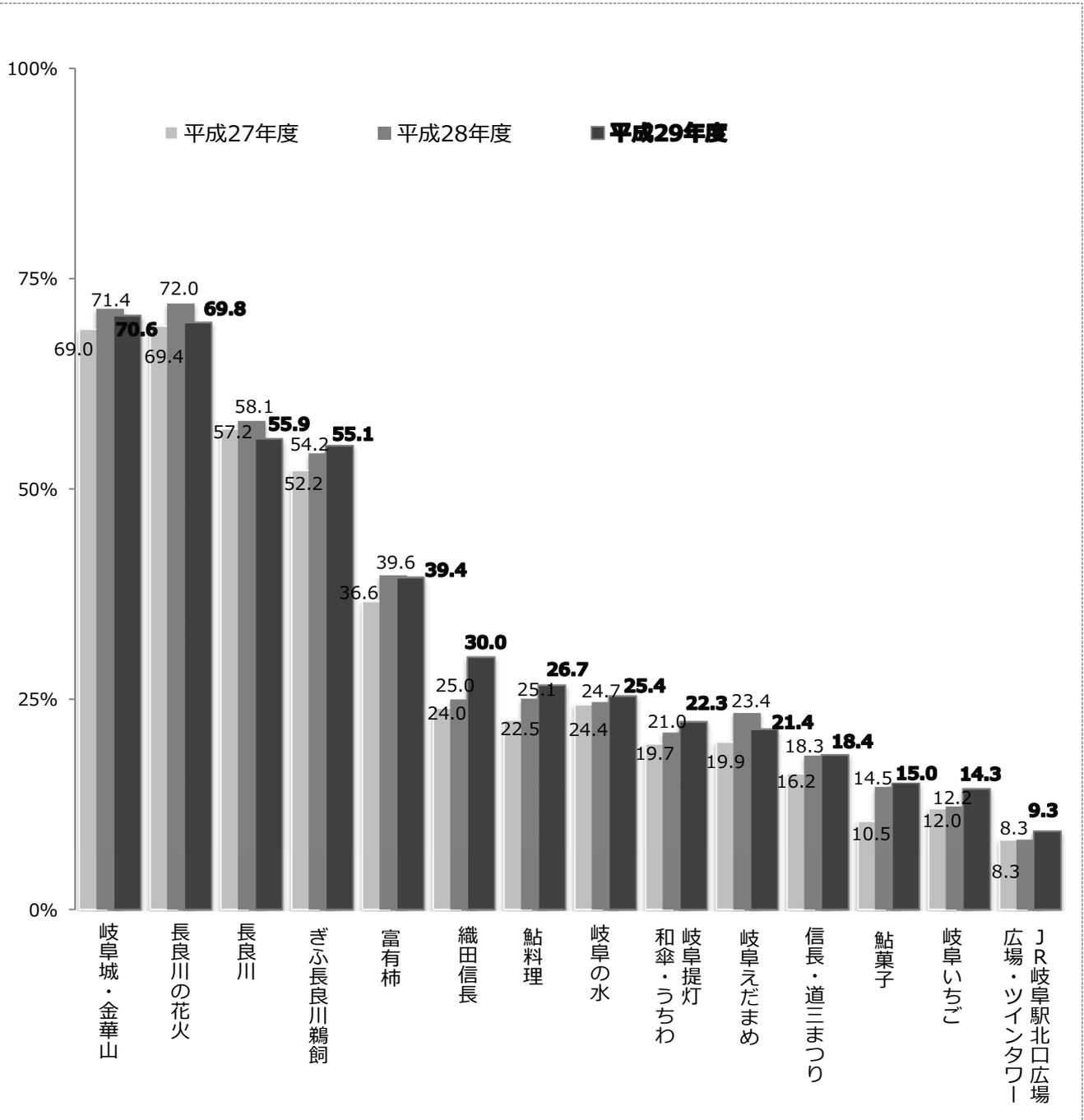
岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、選択された割合が最も高かったものは「岐阜城・金華山」(70.6%)となり、次いで、「長良川の花火」(69.8%)、「長良川」(55.9%)、「ぎふ長良川鵜飼」(55.1%)、「富有柿」(39.4%)が続いた。

魅力項目の選択数 n=1,610



選択項目数を見ると、「3 項目」(247 人)が最も多く、次いで「4 項目」(245 人)、「5 項目」(195 人)、「2 項目」(183 人)となった。

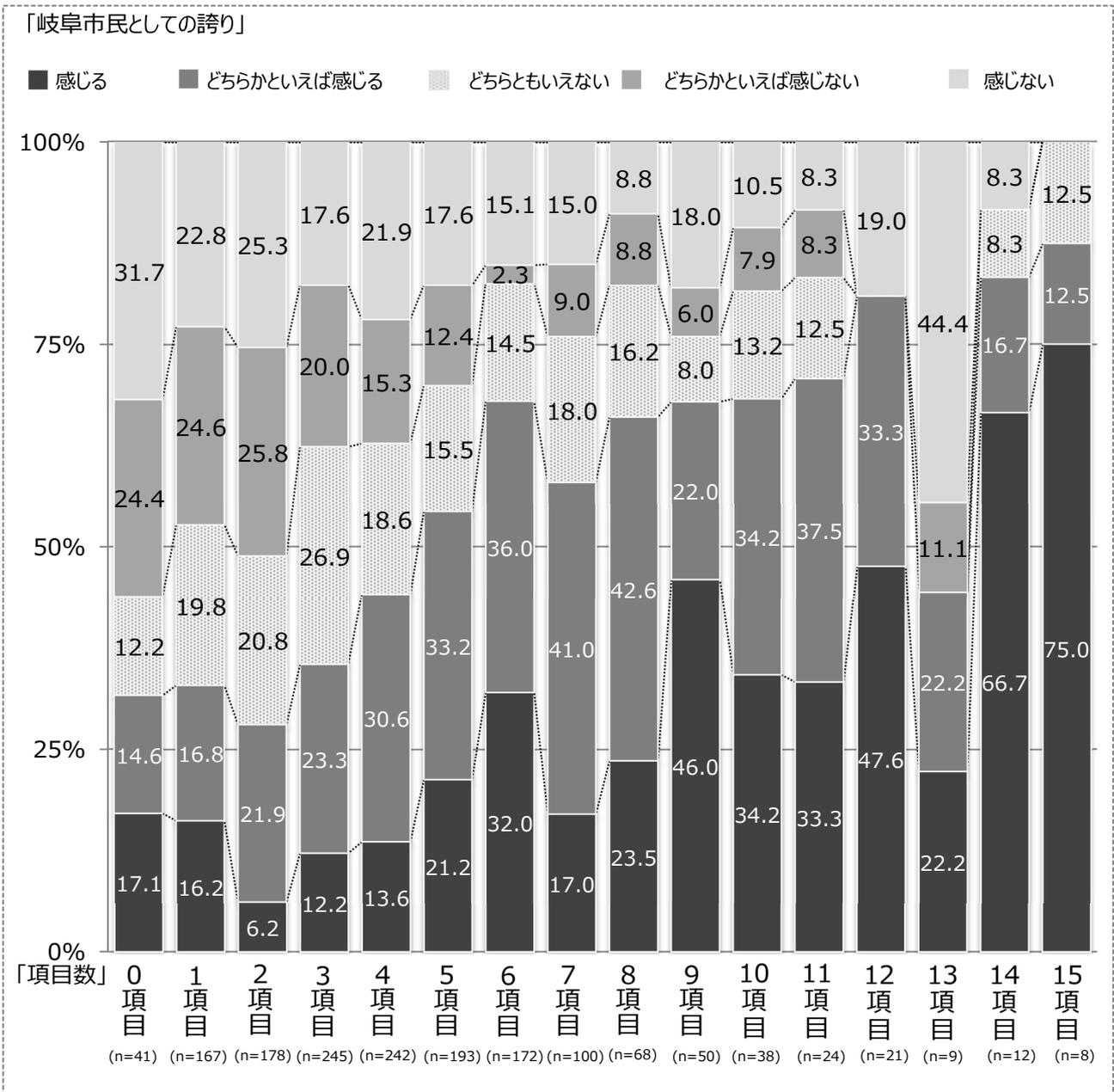
平成 27 年度、平成 28 年度調査結果との比較



平成 28 年度調査結果と比較すると、最も選択した割合が増加した岐阜市の魅力は、「織田信長」(5.0 ポイント増(「H28」(25.0%)→「H29」(30.0%))となり、次いで、「岐阜いちご」(2.1 ポイント増(「H28」(12.2%)→「H29」(14.3%))が続いた。また、岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、9 項目において、選択した割合が増加した。

平成 27 年度調査結果との比較では、「織田信長」(6.0 ポイント増(「H27」(24.0%)→「H29」(30.0%))となり、次いで、「鮎菓子」(4.5 ポイント増(「H27」(10.5%)→「H29」(15.0%))が続いた。また、岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、13 項目において、選択した割合が増加した。

「岐阜市民としての誇り」（設問 31）とのクロス集計 n=1,568

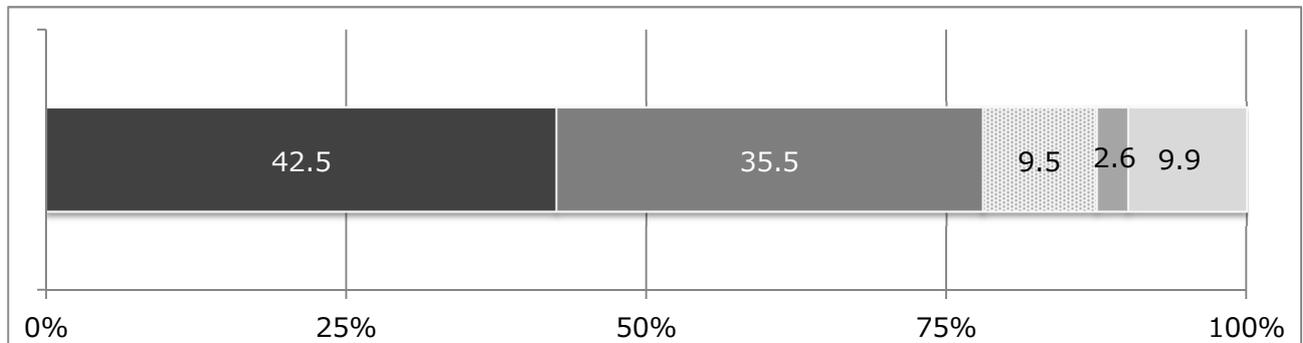


魅力の項目を選択しなかった人の中で、岐阜市民としての誇りを「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計は 31.7%となった。一方で、魅力の項目を「15 項目」選択した人の中で、岐阜市民としての誇りを「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計は 87.5%と高くなっていることなどから、魅力の選択項目数が増えるほど、概ね岐阜市民としての誇りを感じている割合が高くなる傾向がみられた。

5 定住意向

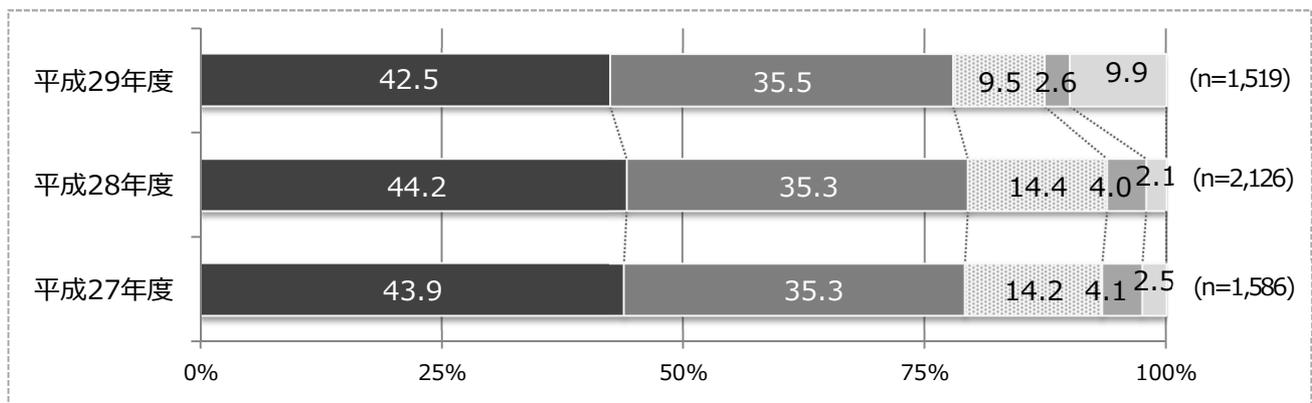
設問 63 このまちに住み続けたいと思いますか。 n=1,519

■ 住み続けたい ■ どちらかといえば住み続けたい ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば住み続けたくない ■ 住み続けたくない



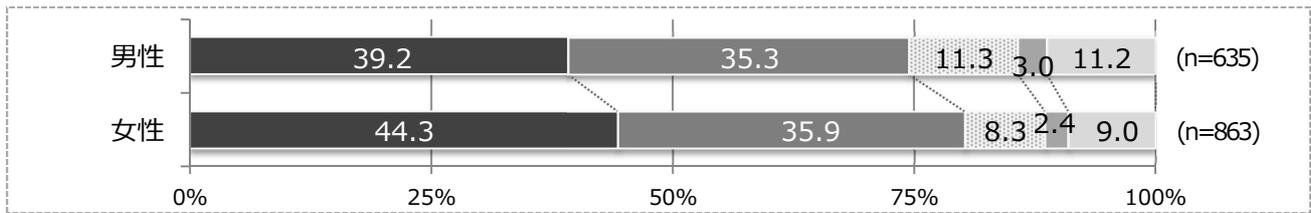
岐阜市への定住意向については、「住み続けたい」(42.5%)、「どちらかといえば住み続けたい」(35.5%)と回答した割合の合計が 78.0%となった。一方で「住み続けたくない」(9.9%)、「どちらかといえば住み続けたくない」(2.6%)と回答した割合の合計は 12.5%となった。

平成 27 年度、平成 28 年度調査結果との比較



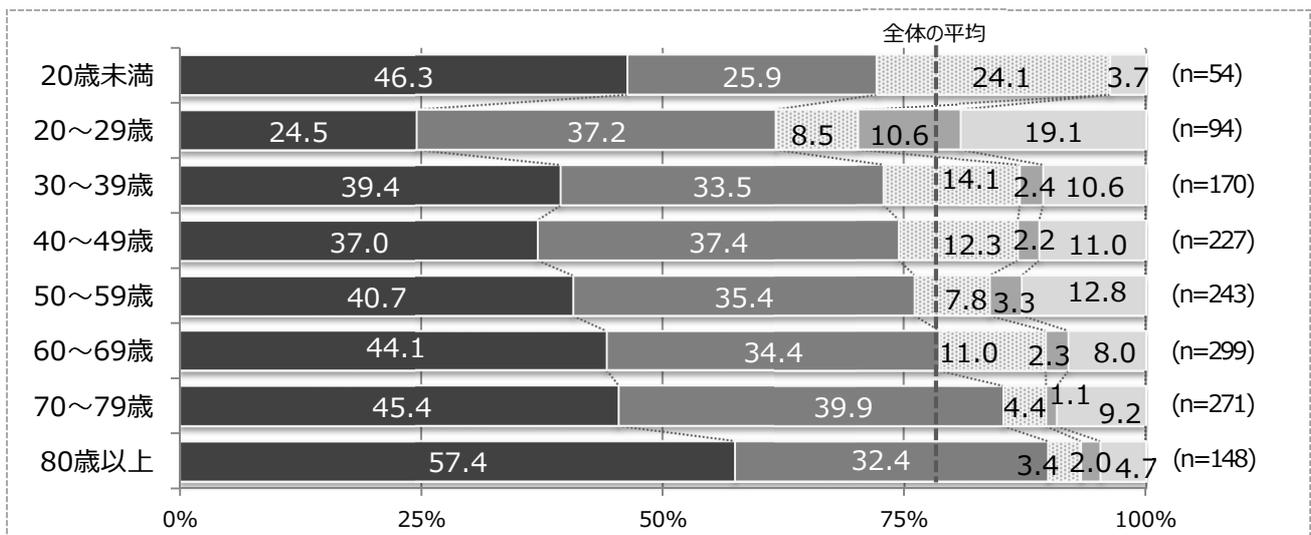
過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計は(78.0%)は、平成 27 年度(79.2%)、平成 28 年度(79.5%)と比較して減少した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,498



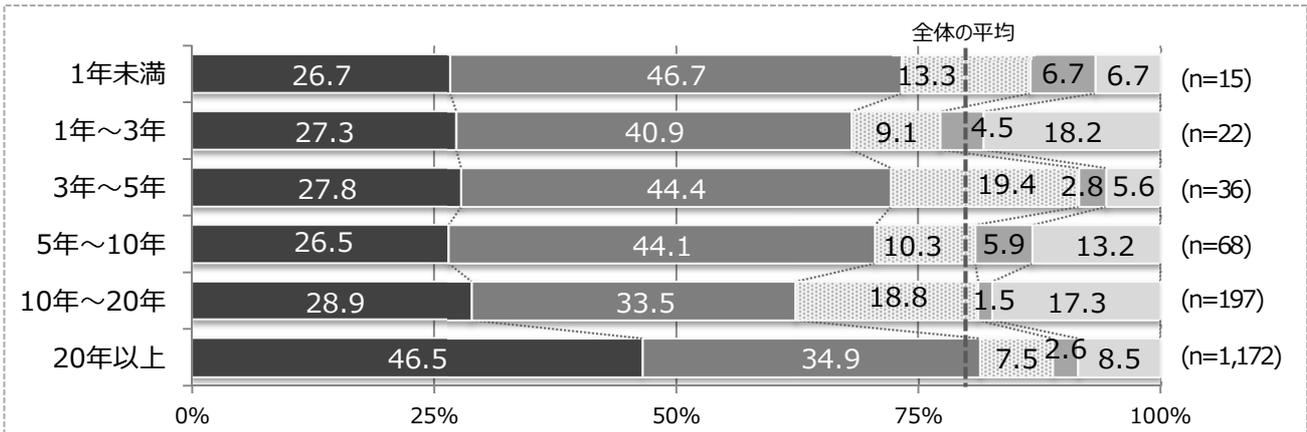
男女別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(80.2%)が「男性」(74.5%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,506



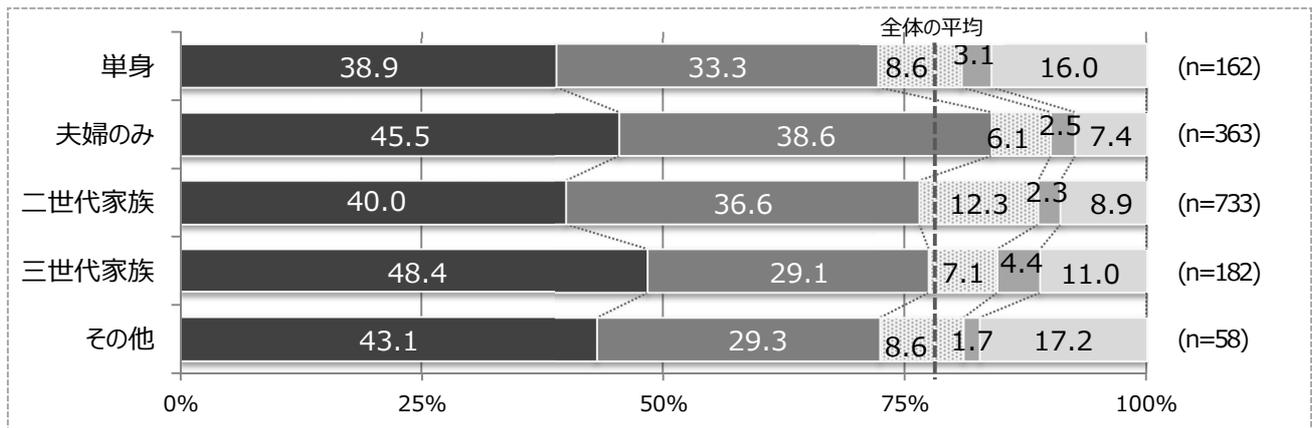
年齢階層別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「80歳以上」(89.8%)が平均を大きく上回り、「70～79歳」(85.3%)、「60～69歳」(78.5%)では平均を大きく上回る、または近似した値となった。一方で「20～29歳」(61.7%)では平均を大きく下回り、「20歳未満」(72.2%)、「30～39歳」(72.9%)、「40～49歳」(74.4%)、「50～59歳」(76.1%)でも平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,510



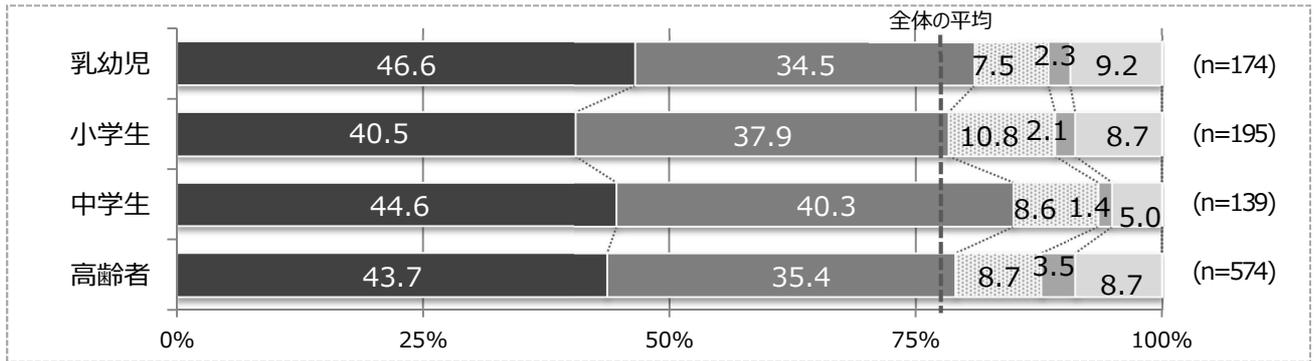
居住年数別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「20年以上」(81.4%)が平均を上回った。一方で「10年以上 20年未満」(62.4%)では平均を大きく下回り、「1年以上 3年未満」(68.2%)、「5年以上 10年未満」(70.6%)、「3年以上 5年未満」(72.2%)、「1年未満」(73.4%)でも平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,498



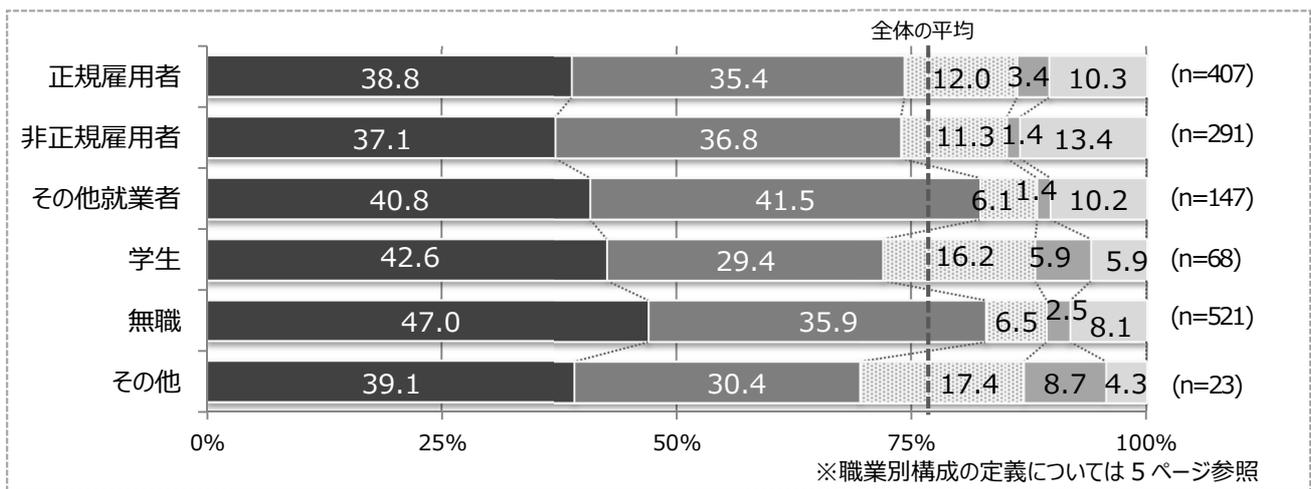
同居家族別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「夫婦のみ」(84.1%)が平均を上回った。一方で「単身」(72.2%)、「二世世代家族」(76.6%)、「三世世代家族」(77.5%)では平均を下回る、または近似した値となった。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



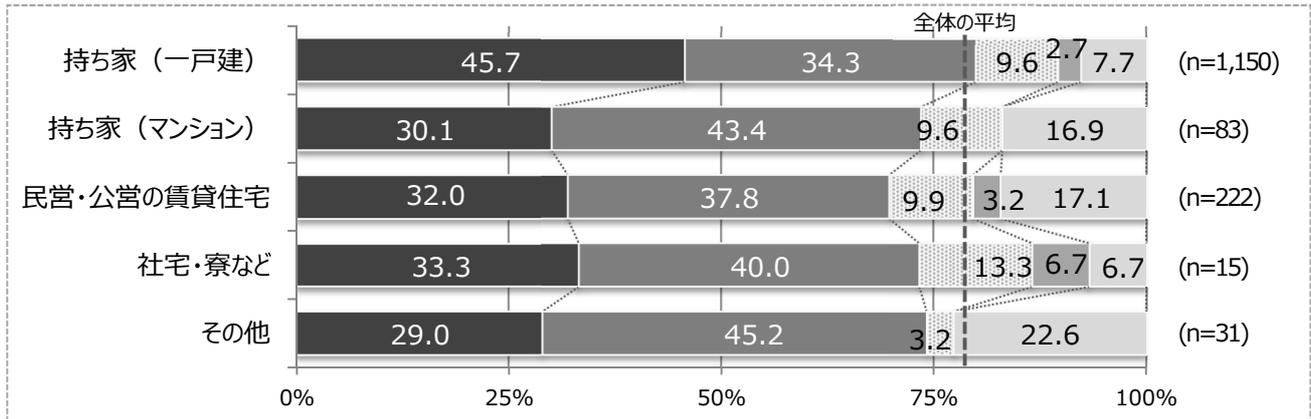
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「中学生」のいる世帯(84.9%)、「乳幼児」のいる世帯(81.1%)、「高齢者」のいる世帯(79.1%)、「小学生」のいる世帯(78.4%)が平均を上回る、または近似した値となった。

職業別構成とのクロス集計 n=1,457



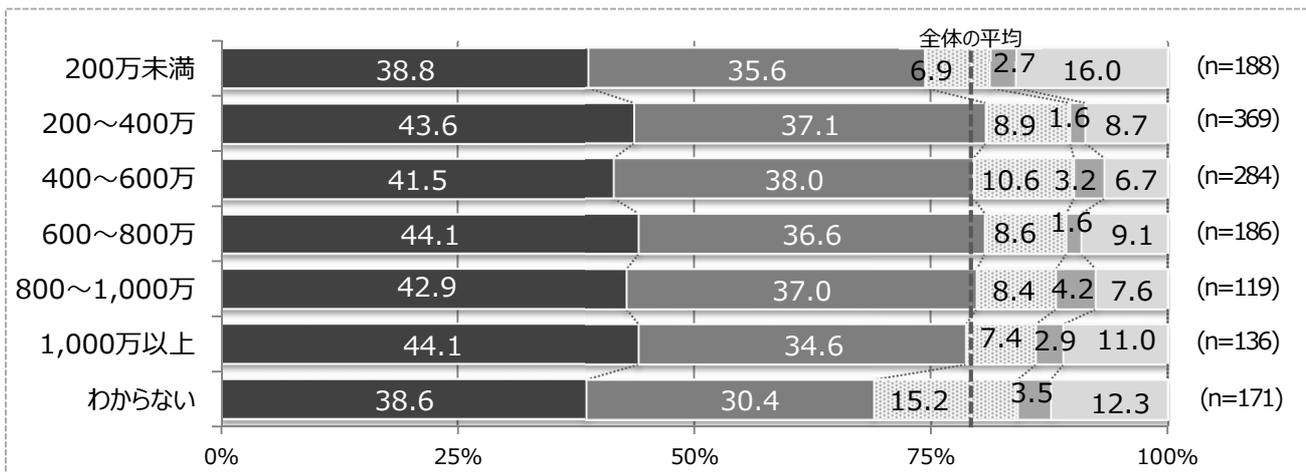
職業別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「無職」(82.9%)、「その他就業者」(82.3%)が平均を上回った。一方で「学生」(72.0%)、「非正規雇用者」(73.9%)、「正規雇用者」(74.2%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,501



住宅別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「持ち家(一戸建)」(80.0%)が平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(69.8%)、「社宅・寮など」(73.3%)、「持ち家(マンション)」(73.5%)では平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,453



世帯収入別(「わからない」を除く)に「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した割合の合計を全体の平均(78.0%)と比較すると、「200万円以上~400万円未満」(80.7%)、「600万円以上~800万円未満」(80.7%)、「800万円以上~1,000万円未満」(79.9%)、「400万円以上~600万円未満」(79.5%)、「1,000万円以上」(78.7%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「200万円未満」(74.4%)では平均を下回った。